

2024. 9. 30

静岡県と「有償コンサルティング契約」を締結 ～民間活力導入可能性の調査業務を受託～

SFG不動産投資顧問（社長 渡邊敬博／金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第203号／投資助言・代理業／加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会）では、グループで取り組む第1次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」でめざす「社会価値創造と企業価値向上の両立」の実現をめざし、地方自治体と連携しながら、地域活性化につながる取り組みを推進しています。

本活動の一環として、このたび東静岡駅南口県有地の利活用検討支援を目的に、静岡県（県知事 鈴木康友）と有償コンサルティング契約を締結しましたので、その概要をご案内します。

1. 契約締結日 9月30日（月）

2. 契約締結の背景

○静岡県では、東静岡周辺地区の整備において、駅周辺に集積する「学術、文化・芸術、スポーツ」施設との相乗効果を生む地域の拠点として、多様な交流と賑わいを生み出すまちづくりに取り組んでいます。

具体的には、南口の県有地において、周辺の既存施設や新県立中央図書館（令和9年度完成予定）、北口市有地のアリーナ構想との相乗効果を得られるような利活用に向けて、検討を進めています。

○SFG不動産投資顧問では、本年6月に静岡市から「静岡市宿泊施設等誘致可能性調査業務」を受託しており、JR駅周辺などに宿泊施設の進出を計画する民間事業者の意向を確認するなど、調査業務に取り組んでいます。

○こうした背景をふまえ、静岡市とも連携した東静岡駅周辺地区における南北一体の整備や、具体的なスキーム検討等の支援を行うため、静岡県との有償コンサルティング契約の締結に至りました。

3. 業務内容について

○東静岡駅南口県有地への民間活力導入に関連する民間事業者等（建設、卸売・小売、宿泊・飲食サービス等）に幅広くヒアリング等を行い、不動産に関する情報および不動産の利用等に係る関係者との調整に関する情報を提供します。

○その他、業務の背景と目的を踏まえ、これらに付随する調査および検討を行います。

4. 今後の方針

○静岡県とともに、対象地の利活用における可能性調査などを通じて地域の魅力や価値を発信し、地域ブランディングの支援に取り組めます。

○今後も、官民一体となって地域活性化に資する取り組みを推進することで、第1次中期経営計画のマテリアリティ（重要課題）に掲げる「地域社会の健全な成長」ならびに「人口減少・少子高齢化への対応」に貢献してまいります。



未来がはじまる場所になる。



しずおかフィナンシャルグループ